



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

竜の水を得るが如し 令和6年年頭のご挨拶



理事長 濱口 浩一

(宮部鉄工(株) 代表取締役)

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、心穏やかに年末年始をお過ごしになられたものと慶び申し上げます。

昨年は、3年続いたコロナ禍がようやく収束に向かい、感染症の取扱いがインフルエンザ並みの5類に移行されるのを契機に、各地に賑わいが戻り、世の中はアフターコロナという”通常運転”に戻りました。ただ、このコロナ禍の中で起こったロシアのウクライナ侵攻からの世界的なエネルギー需要の逼迫と、資源燃料価格の高騰が長びくのに加えて、新たにハマスとイスラエルの衝突が起るなどの世界的な混乱の中で、国内では金利が上昇傾向に向かうなど、中小の製造業には直接間接、様々な形で不安定要素を与え続けています。地元滋賀に多くあるバルブ産業は、上下水道、船舶、産業用配管など重要な社会インフラの基盤として、今まで地道な努力で長い歴史を紡いでまいりましたが、目まぐるしい変化の中では、「明日は今日の続き」とは言い切れない状況です。

滋賀バルブ協同組合は、地域のバルブ業界のより強固な発展を目指して、地域に集まり繋がればこそその強みを生かして、会員各社が課題の共有と解決に向かえる協同運営を図ってまいりたいと思えます。本年も変わらず一層のご支援ご協力をお願いいたします。

副理事長 岡 一嘉

(日の本辨工業(株) 代表取締役)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年、弊社は設立80周年を迎えることができました。戦時中の企業統制令により昭和18年9月に設立し、無事、今日を迎えられたのは、これもひとえに皆様方のお力添えの賜物と心から感謝申し上げます。次の10年、20年と更なる未来に向けて、一歩ずつはございますが前進していきたいと存じます。

さて、日本の造船業界もようやく回復の兆しが見え始め、00年代後半の海運・造船ブーム期以来、線表をほぼ3年先まで埋め、一部では27年28年船台まで商談が進んでいるようです。ただ、昨年に引き続き、原材料の高騰、不安定な為替相場、エネルギーコスト等に加え造船・船用業界とも深刻な人手不足が懸念され、厳しい状況も予想されます。昨年同様述べましたように、海運・造船業界では脱炭素化のため船舶燃料の大転換期となっています。将来のゼロカーボン実現までのブリッジソリューションと位置づけられているLNG・メタノール燃料船。その先は、アンモニア燃料船・水素燃料船へと進むのかどうか。技術課題も多く、業界の進む方向もいまだ明確に見通せない中ではあります。その先を見据えて世の流れに乗って、粛々と、また、希望を持って柔軟に変化に対応し、社会に必要とされる企業・社会に貢献する企業でいられるよう前進

していきたく存じます。最後になりましたが、組合員並びに賛助会員の皆様のご隆盛とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

副理事長 大須賀 貴幸

(株)大鳥製作所 代表取締役社長)

あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。令和5年は新型コロナウイルスが収まりを見せたものの、前年から続くロシアのウクライナ侵攻が解決をみなかったばかりか、イスラエルとイスラム武装組織ハマスとの武力衝突によって、国際情勢がさらに複雑化することとなりました。

令和6年は1月に台湾総統選挙、3月にロシア大統領選挙、そして、11月にアメリカ大統領選挙が予定されており、国際政治が大きく動き出すと予想されています。

一方、日本国内は、上がらない所得、円安や原油高による家計の圧迫などによって、岸田政権の支持率は下がり続け、「キックバック」問題で更に政府自民党に対する信頼は失墜することが予想されます。

しかし、誰が首相になっても日本の課題は変わらず、山積する課題にどう立ち向かうかが問われています。

暗雲立ち込める世相ではありますが、本年は辰年です。十二支の5番目にあたる辰年は、「陽の気が動き、草木がなびいて大きく成長して、形が整っている様子」という意味だそうで、ここから辰年は、物事が成長・発展し、形を成す、そんな年になるといわれております。

令和6年はこれまで誠実に積み上げてきたものが、実を結ぶ年になりそうです。もし、目に見える結果が出なかったとしても、積み重ねたものが身についたしつかりと自分のものになる一年にしたいいものです。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

日本バルブ工業会 副会長

彦根支部長 村井 米男

(株)オーケーエム 取締役会長)

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日本バルブ工業会彦根支部は滋賀バルブ協同組合様との共催による活動の基本にしており、組合員各位のご協力ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年はウクライナ、パレスチナ紛争の解決が見えず、資源の不安定、高騰や更なる経済影響も心配でした。これによりインフレにはなりませんが、将来が見えにくく、足元重視の国会議論では、内閣支持率も低いままとなり、異次元の少子化対策も若者の希望になりません。まずは、腰を据えて将来を引っ張るリーダーシップが望まれるところです。コロナ禍が収まりましたが、インフルエンザなどの感染症が次々と出て騒がせています。まずは体力、健康力を付けて、気力も充実して乗り越えたいと思えます。

今年パリ五輪が開催されます。スポーツは、誰も恨まず楽しくするもので、人類が団結し世界平和が来るように大いに期待します。先ずは気持ち



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

ら明るくしましょう。

さて、日本バルブ工業会では、中期計画V-70を推進しています。最終年度ですが各部会、各委員会が良い成果を出してくれています。日本バルブ工業会は今年が70周年です。彦根バルブ産業の歴史は更に長く、研究、勉強させていただき、広報にも努め、バルブ産業の地位向上に努力する所存です。

新年度では、一歩二歩活動を広げるべく新中期計画を立て、推進します。特に若手経営者、若手社員、女性活躍などを加え、飛躍へのスタートを切りたいと考えています。

今は、グリーン経済成長やGXが重要な課題です。工業会もカーボンニュートラル実現に、業界目標も立て、中小企業でも取り組めるように地道な活動を進めたいと考えています。滋賀バルブ協同組合様との更なる情報交換や活動を推し進めたくご支援賜りますようお願い申し上げます。

今年の辰年が良い年であり、皆様のご多幸ご繁栄を祈念し挨拶とさせていただきます。

新春メッセージ

(株)オーケーエム

代表取締役社長 奥村 晋一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中はみなさまに大変お世話になり、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ると新型コロナウイルスによる混乱は落ち着きましたが、

ウクライナ紛争の長期化に加えてイスラエル・ガザの紛争が起きました。以前にも増して世界情勢は不安定になってきております。経済においても材料価格の高止まり、円安など大きく影響を受けました。

そして、気候面では記録的な暑い夏となり、6月から8月までの平均気温が世界、日本でも観測史上最高となりました。

この気温上昇は単年だけの事象ではなく年々右肩上がりです。地球温暖化が関係していると考えられています。地球温暖化は、太陽活動の周期変化によるものもありますが、19世紀以降は人間の活動が原因とされています。その主たる要因は、化石燃料の燃焼ガスが引き起こす温室効果によるものです。近年、この温室効果ガスの濃度はこの200万年で最も高くなっており、排出量は年々増加しています。

地球温暖化は気温が上昇するだけでなく、農業、漁業、感染症、人の健康、洪水・暴風雨の発生、経済損害など暮らしに直接悪影響を与えています。このまま放置すると食糧危機、災害の増加、災害規模の拡大が予測されています。

最悪の気候変動を回避するには、世界の気温上昇を産業革命前と比べて1.5℃までに抑える必要があります。対策をしないと今世紀末までに3.2℃の気温上昇が予測されています。安全な暮らしを維持するためには、温室効果ガスの排出を削減することが重要課題です。

政府は「GX実現に向けた基本方針」を打ち出し、経済界もGXへの取り組みを加速しています。それに伴い、新

たな需要が生まれ、新たなバルブが必要になってくるでしょう。我々も企業活動での温室効果ガス排出の抑制に取り組むつつ、この大きな変化をビジネスチャンスとして捉えて経営に取り組んでいきます。

最後に、皆様のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(株)清水合金製作所

代表取締役社長 小田 仁志

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご支援ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今日世界で起きている紛争は予想以上に長期化しており、エネルギーや食糧の需給において世界中の国々に大きな影響を与えています。それら自給率の低い我が国は為替の影響も相まって、物価高騰に拍車がかかる事態となっております。

特に、低所得者層の生活は厳しさが増す中で昨年の年の瀬を迎えました。紛争の多くは自国の考えや利益を優先し、排他的な考え方から起きています。地球環境を基盤とした人類の生存は人間を含めたすべての生き物の共存で成り立っており、互いの存在を否定しては成り立ちません。世界中の人々が利他の精神を持つことが出来れば、安定した素晴らしい世界が築かれるのではないかと思います。

今年の干支は甲辰。春の日差しが平等に注ぎ、大きな成長を促す年と言われています。世界の安定を祈りつつ、水で

社会に貢献するという自らの使命を全社員、力を合わせて全うして参ります。本年も何卒よろしくお願いいたします。

(株)清水鐵工所

代表取締役 清水 智弘

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2024年も新たな気持ちで迎えることが出来ましたことに、心より感謝申し上げます。

さて、昨年度のトレンドの中でも、将来にわたり大きな影響力を持つ出来事は「ChatGPT」をはじめとした、生成AIの登場ではないでしょうか。質問に対してAIがインターネット上のビッグデータをもとに何でも回答してくれるサービスは話題に上りました。様々な面で業務の効率化が図れ、人間が行う業務の内容がこれから激変していくことと思います。

そんな中、我々水道業界関連の大きな変化といえば、令和6年4月から上水道の整備や管理業務が、厚生労働省から国土交通省へと移管されることとなりました。現在の水道普及率は全国で98.2%に達し、公衆衛生という観点から今後は水道基盤の強化、広域化、老朽化対策や維持管理といった課題に取り組んでいくことが重要となってきます。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

本年の目標としては、様々な変化の波をしつかりと捉え、チャンスに変えるためにも、社内組織の強化に努め、従業員が自律的かつ効率的に働ける環境づくりに努めていきたいと思っております。

最後に皆様の益々のご発展とご活躍をこころよりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

(株)昭和バルブ製作所

代表取締役社長 中川 陽介

謹んで新春のお慶びを申し上げます。辰年に虎の話で恐縮ですが、昨年は我が阪神タイガースが38年ぶりに悲願の日本一に輝きました。この喜びを語り始めると紙面にはとても収まりませんが、前回の日本一を知るオールドファンとしては、当時主力選手であった岡田彰布監督の指揮下で勝ち取った優勝という点にも大いに感銘を受けた次第です。そんな岡田監督の『アレ』を始めとする数々の語録の中で、妙に印象に残ったのが、

『当たり前前』を当たり前前をやつたらええ結果が出るだけやんか、おーん』という言葉でした。では、果たして『当たり前前』とは何なのか？文字通り捉えれば、普遍的なものであり、言うまでも無いことであり、何の変わったことも無いことという感じになるので



しょうが、いざ個人が、様々な場面で『当たり前前』を実践し続けて行くには、知識、経験、機転、道徳心、好奇心、感受性……等々、多くの能力を帰納的にも演繹的にも駆使せねばならず、その一方で、『ええ結果』が出なかった場合、そこに至るまでのプロセスは『当たり前前』では無かったという事にもなりかねませんので、何とも厄介な概念です。やはり、勝てば官軍ではないですが、良い結果を出した岡田監督が発した言葉だからこそ、腑に落ちて印象に残ったということなのでしょう。

新しい一年はスタートしたばかりです。様々なことに『ええ結果』を出すために、まずは今までの『当たり前前』を疑うところから始めてみようと思えます。本年も皆さまからのご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

角田 鉄工(株)

代表取締役社長 角田 孝幸

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年を振り返ってみますと、世界中に猛威をふるったコロナ感染症も5月に第5類に移行されたことを受けて、その後は今までの反動もあつてか、人との接触の機会が非常に増えたと感じる二年でした。

年末になり、自民党派閥の裏金問題で、現職の大臣や党の役員が辞任したこともあり、政権も不安要素が残りますが、スポーツ面では、大谷選手がドジャースに史上最高額で移籍するという明るいニュースもあり、今後の彼の活躍に期待を寄せているところです。

さて、日本の経済状況は大企業を中心に回復の兆しを見せていましたが、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢の更なる悪化などが引き金となり、エネルギー価格の高騰につながれば各国でインフレが再加速し、景気後退を招くりスクもありません。

今後の更なる経済発展の鍵は物価上昇分を賃金アップに取りこめるかが焦点となると思います。中小企業にとつてはドル高、物価高、原材料高、コスト高と事業環境もより厳しくなり、経営のハードルも高くなつたと感じておりますが、賃上げ促進に関しては、弊社としても出来る限りの対策を講じなければならぬと考えています。

我々の関連する水道事業では、集中豪雨による水害や土砂災害、大規模地震に備えての対応、インフラの老朽化対策など国土強靱化に向けての解決すべき課題が山積みですが、製品の改良や開発を通じて少しでも水道バルブ業界のお役に立てればと考えております。

今年も役員社員一丸となり、常に初心を忘れず何事においても気持ち向前向きに、技術と品質向上に取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

最後になりますが、組合員並びに賛助会員様の更なるご発展とご繁栄を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

松尾バルブ工業(株)

代表取締役社長 松尾 直樹

新年明けましておめでとうございます。2024年がスタートしました。コ

ナの影響を受けない中で新年を迎えることは本当に久しぶりです。

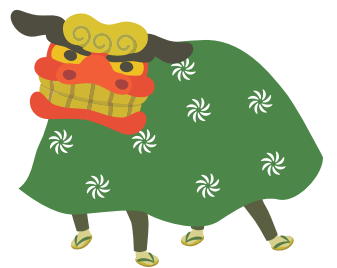
しかし、世界が平常を取り戻すまでに3年以上を費やしたコロナ

は、経済以外の思いもよらない部分にも大きな影響を及ぼしています。

特に印象的だったのは、昨年12月に某大学で講義をした時のことです。出席された約250名の学生達の服装の約7割が黒系や茶系の落ち着いた色でした。季節的なものや流行色がそうなのかと思っていたら、教授から周りと違うことに抵抗がある世代であり、また、高校から大学にかけての3年間をオンライン授業や黙食、マスクの着用など制限された生活と共に歩んできていたため、なかなか積極的に個性を出したり意見を述べたりすることが難しい世代であるとお話されました。

また、昨年より小学校のPTA会長として学校や地域に関わる中で、コロナの中で延期されたイベント(市民運動会や夏祭り)などは、復活せずそのまま消滅してしまうものも少なくありません。

積極的な意見が出なかったり、個性が出せなかったり、経験や活動の場がなくなつてしまったということは刺激が少なくなつたり、刺激そのものが奪われることになり、当然、刺激が少なくない新しいアイデアが生まれず、イノベーションを起こせなかったりするので、この国の未来にも良くない影響を及ぼします。





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

このようなコロナの見えない影響を改善していくために何が必要なのかと考えていると、「遊び」ではないかと思うようになりました。

先日、小学校で執り行われた親子ドッジボール大会で、大人や子ども、そして先生が一緒に遊べるボールで汗を流したり、笑ったり、悔しがったり、泣いたりする姿を見て「とてもいいエネルギー」を感じました。

ヨハン・ホイジンガの著書「ホモ・ルーデンス」で人間は「遊ぶ生き物」であり、遊びの中から文化が生まれたと話されています。遊ぶことが人間らしさであり人間の本质ということですね。誰もが過ごした子ども時代のように、遊びに対してワクワク、ドキドキし、普段あまり関わりのない人とも交流したりすることで、刺激的な日常を得て、自分自身と周りの人への活力となるような活動が、コロナの影響を長く受けた世界に必要だと思えます。

キャッチボール、キックベース、ゴム跳び、ペーゴマ、スキー・スノーボードなども最近ではどれも特殊な動作になってしまいました。あえてこれらのような身近な遊びを通じて脳に刺激と関わる仲間を増やし、そして、その中で自分の強みや個性に焦点を当てて一年を過ごして参りたいと思えます。

本年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

大宗(株)

代表取締役社長 鈴木 宗亮

新年あけましておめでとございます。昨年は大変お世話になりました。

本年もどうぞ宜しくお申し込み申し上げます。

さて、昨年は一昨年から引き継ぐ円安、原材料や資材、エネルギー価格の高騰など海外情勢の変化によるリスクと働き方改革や賃上げなど国内情勢の変化によるリスクがあつたかと思えます。そのような中でも会社の利益を確保し、経営していかなくてはなりません。社内での安全が第一だと気付かせてもらった一年でもありました。

本年はそのことを踏まえ、社員や社内での安全第一を徹底したうえで無駄を省いた効果効率的な業務の改善に力を入れていきたいと考えております。

困難なことは多々ありますが、創意工夫で乗り切る所存です。社員一同、精一杯務めてまいりますので、皆様よりの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

青年部 部長 宮嶋 俊介

(株)ミヤジマ 代表取締役社長

【ONE TEAM】

新年あけましておめでとございます。

今年、どの業界も景気がよろしくないという見通しですが、厳しい中でもこそ全員で知恵をしぼり、「ONE TEAM」で乗り切りたいものです。と言いつつ、ラグビー日本代表の堀江選手も言っていました。「ONE TEAMになるのはそんな簡単なことではない」と。

では、どうしたら【ONE TEAM】

になれるのでしょうか。自分なりに考えてみたところ、それは一人ひとりの「白い心」の比率を増やすことなのかな、と思いました。

左記は、私の人生の師匠から学んだ一文です。

人間には白い(善の)心と黒い(悪の)心が混在していて、100%白い心の人もないように思えます。つまり、善の心と悪の心の戦いの中で人は毎日毎日、一瞬一瞬、どちらの行動を取るかの選択を迫られているのです。その連続が人の一生といつてよいようです。

「自己中心的な生き方をするか、他者への優しい思いやりを持った生き方をするか」、人間誰しも完ぺきではありませんが、せめて自己中心的な生き方を半分以上の49%に抑え、他者への思いやりをもった行動が半分以上の51%であれば、その一日は白星となります。なんと一日一日、白星を積み重ねていきたいと思っております。

ラグビー日本代表をみると、選手の方々は、毎日白星を重ねている方ばかりと思えます。すこぶる「白い心」の比率が高い人間の集まり」と感じます。

ラグビーのヒーローインタビューの際、インタビュを受けた選手は決まってこう言います。「ラグビーにヒーローはいない。皆でとったトライだ」と。

一人ひとりが白星を重ね【ONE TEAM】で、厳しい時代でもトライを獲得していきたく思います。

本年も何とぞよろしくお申し込みいたします。

(株)水研

代表取締役社長 佐藤 康成

新年あけましておめでとございます。

滋賀バルブ協同組合の皆様におかれましては、ますますのご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、季節性インフルエンザと同じ「5類」へのコロナウイルス感染症の移行により、世の中の不安感もかなり解消され、国内外の展示会に積極的に参加し、以前と変わらぬ形で自社製品を広くアピールできたことに深く感謝いたしております。

新しい年が始まり、当社は昨年紹介した製品を更に拡販し、市場の期待に応えるための体制をより一層整えてまいります。円安やエネルギー価格の高騰など外部環境の変動に柔軟かつ果敢に対応し、着実な成果を上げるべく尽力いたします。

技術立社である当社は、継続的な試行錯誤の姿勢を貫き、新たな技術を駆使して未来への展望を切り開いていく決意を強く抱いております。厳しい現実には立ち向かいながらも、お客様や取引先の皆さまとの協力を大切に、持続可能な未来を共に築いていくため、全力を挙げて取り組んでまいります。

今年の干支、甲辰(きのえたつ)は成長や新しい始まりのエネルギーが感じられる年であると言われます。この力強い年のエネルギーを受け、当





滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

社も更なる飛躍を遂げ、新たな一歩を踏み出していく覚悟でございます。最後にありますが、新しい年が皆様にとって健康で幸福な一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(株)高砂商店

代表取締役 高岡 佑輔

令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合の皆様には日頃よりお世話になり、厚く御礼申し上げます。

弊社は塗料販売会社であり、大阪に本社を、近江八幡に滋賀営業所として営業拠点及び倉庫を構えて、塗料や溶剤、塗装機器、塗装設備等の販売、提案を行っております。昨年は、新型コロナウイルスが5類に引き下げられ、コロナ禍があったのかと思うほどの人の移動を体感致しました。関西では大阪や京都を筆頭に観光地は外国人観光客が大幅に増え、にぎわいを見せています。

また、大阪万博を2025年に控え、課題もありながらも少しずつ関西は活気づいているように感じます。その中でも弊社は地に足をつけ、日々の営業活動を行い、社員一同、滋賀バルブ協同組合の発展にご協力し、よりよい塗料や塗装方法のご



提案を心がける所存でございます。昨年同様にご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。最後にりましたが、滋賀バルブ協同組合と会員、賛助会員の皆様への益々のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

(有)田中印刷所

代表取締役 田中 由一

「いつか、未来をつくる、君へ。」
新年あけましておめでとうござい
ます。昨年、賛助会員として入会させて
いただきました。

弊社の紹介ですが、社名の通り印刷業を営んでおります。他にも3DCGでエンターテイメント関連の仕事させていたしておりますが、その展開として、展示会ブース製作、Webページ制作、AR・VRやVTuber、ChatGTPを利用したAI無人アバター接客システム等を制作しております。

滋賀バルブ協同組合様に関わらせていただいたと感じることは、ものづくりを支える「技能伝承」でした。機械化できない熟練作業に取り組み、若い社員に伝えることで会社の強みを途絶えさせない努力をさせていただきました。以前、日立製作所の広告コピーが印象に残っていますので、ご紹介したいと思います。

いつか、未来をつくる、君へ。
毎日、毎日、毎日、
汗にまみれて訓練をかさねる君に、

指導者として、伝えておきたいことがある。

僕がほんとうに君に教えたいのは、溶接や旋盤の技能だけではない、という話を。

つくる、は簡単じゃないかもしれない。つくる、は派手じゃないかもしれない。つくる、は楽しいばかりじゃないかもしれない。

だけど、この国のものづくりを、自分のこの手で支えているんだと実感できる、そんな喜びにも、あふれているということ。

僕は、最高のものづくりをする、君をつくらう。

いつか、僕から君に教えられることが、何ひとつなくなる日まで、つくらう。

マニュアル化された技術だけでないことを感じ、ものづくりの奥深さを感じます。

滋賀バルブ協同組合皆様の益々のご発展とご健勝を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



編集後記

あけましておめでとうござい
ます。

皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

ここに、令和6年新春特別号をお届けできること、大変嬉しく有難く御礼申し上げます。

昨年は、本来の日常生活が戻るかと期待したものの世界情勢が大きく複雑化し混沌としてまいりました。

国内におきましては、急激な円安・エネルギーの高騰等による経営・家計の圧迫など、大変厳しい一年となりました。

本年は、変化する社会情勢におきまして、今日まで培われてこられた信用と実績にて難局を乗り切っていただき、更に英知を集めてステッパアップされることを念じております。

事務局と致しましては、組合員・賛助会員並びに各関係団体の皆様方と連携をより一層密にし、彦根バルブ業界発展のため、諸事業を効果的に推進させて頂く所存です。

どうか、皆様のご理解ご協力を引き続き賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

(事務局一同)